

市民事業支援制度 20年間の報告書の作成について（案）

1 これまでの議論の振り返り

(1) 市民事業支援制度の実績と成果について

- ・補助金を交付した団体の成果、費用対効果が数値で分かるようにしたい。
- ・施策を補完するため、山間エリアの市民の活動の継続、コミュニティづくりなど、市民事業が元々どのような目的で行われてきたのか様々なケースは考えられるが、数値的に費用対効果などで示していく方法は馴染まないと思う。団体に補助金をもらって活動に良い影響があったかを聞き、いくつか回答が集まれば、それが定性的な活動の成果になると思う。

⇒令和7年度に実施した卒業団体へのアンケート項目「補助金制度を活用したことで、貴団体にどのような変化・効果があったか」で調査済

(2) 「市民団体の活動の一助となるような報告書」について

- ・単なる活動の記録ではなく、県民に今後、水源環境保全活動を行いたいと思ってもらえるような報告書が良いのではないか。
- ・これまで補助金を活用してきた団体に、新たに活動を始める団体へのアドバイスや意見を事業別に聞き取り、掲載していけば参考になるかと思った。
- ・これまで補助金を活用し、現在も活動を続けている団体に対し、補助金を活用して良かった点や活動のアドバイスなどを聞き取って掲載するのが良いと思った。

⇒卒業団体（各事業1団体）に「新たに活動を始める団体へのアドバイスや意見」、
「補助金を活用して良かった点や活動のアドバイス」等の意見をもらい、報告書の補助金活用事例に掲載する。

2 内容

・はじめに

- ・市民事業専門委員会の位置づけ
- ・制度発足の経緯と目的

・市民事業支援制度の概要

- ・制度の目的と基本理念
- ・対象事業と補助内容
- ・審査・採択の仕組み
- ・委員会の役割と運営体制

・実績と成果等

- ・支援実績
 - ・団体への効果
 - ・課題
- （ 令和7年度のアンケート結果を基に、
委員会として感じたことも記載 ）

★補助金の活用事例

- ・事業別に活用事例を紹介
- ・補助金を活用した団体からのアドバイス・意見

・まとめ

- ・今後の市民事業支援制度について（各委員からのコメント）

3 ヒアリング内容及びヒアリング候補団体について ※参考資料3参照

団体名 ()

1 貴団体の設立に至る背景を教えてください。

2 活動内容を教えてください。

3 もり・みず市民事業支援補助金を具体的にどのように活用されましたか。

4 補助金を活用してよかったことや効果があれば教えてください。

5 団体の活動を継続する上で工夫していることを教えてください。

6 新たに活動を始める団体へのアドバイスやメッセージをご記入ください。

7 活動の様子、活動場所の外観等が分かる写真の御提供をお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。
いただいた内容を基に報告書を作成させていただきます。

各事業のヒアリング団体（案）※参考資料5 参照

事業	団体
I 森林の保全・再生	湯河原森のなかま
II 間伐材の利活用促進	NPO 法人 侘
III 河川・地下水の保全・再生	中津川仙台下クラブ
IV その他の特別対策事業	NPO 法人 おだわらイノシカネット
V 普及啓発・教育事業	NPO 法人 東海大学地域環境ネットワーク
VI 調査研究事業	一般社団法人 自然環境管理サポートセンター

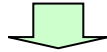
※VII 資機材の購入については対象外としている。

4 報告書の作成スケジュールについて

市民事業支援制度 20 年間の報告書の作成の流れについて

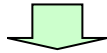
○市民事業専門委員会（第 104 回・5 月 15 日）

過去に市民事業支援補助金を活用した団体に対するヒアリング内容及びヒアリング団体の決定

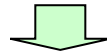


○卒業団体へのヒアリング（6～8 月）

各事業 1 団体ずつヒアリングを実施

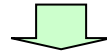


ヒアリング結果を踏まえ、報告書（原案）の作成



○市民事業専門委員会（第 106 回・10 月）

報告書の記載内容について検討①



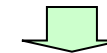
○市民事業専門委員会（第 107 回・12 月）

報告書の記載内容について検討②



○市民事業専門委員会（第 108 回・2 月）

報告書の記載内容について検討③



○市民事業専門委員会（第 109 回・5 月）

令和 8 年度の結果を含めて、最終確認



○県民会議（時期未定）

報告書（案）を県民会議に報告、確認の上その場で確定

⇒「令和 9 年度市民事業等支援制度に関する報告書（仮称）」を県民会議座長から県に提出